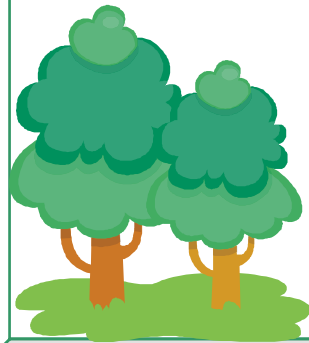


環境活動レポート

2014年度(2014年1月～2014年12月)

2015年 1月

株式会社 吉銘



— 目 次 —

1. 環境方針	P. 1
2. 事業活動の概要	P. 2
3. 環境目標	P. 3
4. 環境活動の実績と評価	
4－1. 全社	P. 4
4－2. サイト別	P. 5
5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価	
5－1. 本社・新住工場の活動内容	P. 6
5－2. 田原本工場の活動内容	P. 7
5－3. 五條工場の活動内容	P. 8
5－4. 特販部の活動内容	P. 9
5－5. 東京支店の活動内容	P. 10
5－6. 札幌支店の活動内容	P. 11
5－7. 福岡営業所の活動内容	P. 12
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P. 13
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 13

1. 環境方針

< 基本理念 >

「大自然に感謝して、少しでも恩返しを」

< 行動指針 >

1. 大自然から受けた恩恵である木材を人間の知恵をもって最大限に余すことなく有効に利用し〈木を活かす企業〉として循環型の住みよい環境の実現を目指します。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境パフォーマンスを自主的・継続的に改善できるように推進します。
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・廃棄物排出量の削減
 - ・総排水量の削減
 - ・化学物質の適正使用について維持管理
 - ・グリーン購入の推進
 - ・環境に配慮した原材料の使用を推進
3. 環境教育・訓練・社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
4. 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守し、必要に応じて環境管理レベルの向上を図ります。

この環境方針は、社外の人にも公開します。

制定日 2005年 5月21日

改定日 2010年 1月27日

株式会社 吉銘

代表取締役社長 貝本 隆三

2. 事業活動の概要

①事業所名および代表者名

株式会社 吉銘
 本社(管理本部・新住工場)、田原本工場、五條工場
 特販部・東京支店・札幌支店・福岡営業所
 代表取締役社長 貝本 隆三

②所在地

本社 奈良県吉野郡下市町大字新住1118
 田原本工場 奈良県磯城郡田原本町大字味間436
 五條工場 奈良県五條市島野町485番地
 特販部 奈良県橿原市栄和町四反田4-1
 東京支店 東京都江東区東陽5-28-6 TSビル5F
 札幌支店 北海道札幌市北区新琴似8条2丁目1-11 上島ビル203号
 福岡営業所 福岡県福岡市東区多々津1-18-15

③環境保全関係の責任者および担当者連絡先

環境経営責任者 代表取締役社長 貝本 隆三
 EA管理責任者 本社 神谷 拓信
 連絡先 TEL : 0747-52-4066
 FAX : 0747-52-4797
 E-mail : hinkan@yoshimei.co.jp

④事業規模(2013年度)

資本金 7200万円
 年商 (全社) 123億円
 主要製品生産量(3工場) 20575トン
 ・本社・新住工場:5458トン
 ・田原本工場:8872トン
 ・五條工場:6245トン
 従業員 (全社) 154名 (平成27年1月現在)
 (サイト別)・本社・新住工場:44名
 ・田原本工場:37名
 ・五條工場:50名
 ・その他部署:23名
 床面積
 ・本社・新住:13600m²
 ・田原本工場:5811m²
 ・五條工場:6337m²
 ・その他部署:4538m²

⑤事業内容

集成材の製造販売および住宅関連商品の販売

⑥沿革

昭和25年4月 貝本商店の創業
 (創業者、現取締役相談役 貝本 輝司)
 昭和28年4月 業界に先駆け集成材の製造販売開始(当社 元祖)
 昭和40年4月 吉野銘木製造販売㈱に法人組織化
 昭和45年1月 貝本木材工業㈱を新たに設立(㈱吉銘の前身)
 昭和50年6月 ㈱吉銘に社名変更
 昭和52年7月 本社を橿原市に新築移転
 昭和52年9月 ㈱吉銘福山を設立
 昭和55年9月 山陰営業所の開設
 昭和58年8月 福岡営業所の開設
 昭和58年9月 吉野郡大淀町に佐名伝工場を新設
 昭和59年10月 岡山営業所の開設
 昭和61年4月 吉野銘木製造販売㈱の集成材工場を製造部門として合併
 昭和62年3月 東京支店の開設
 平成 2年3月 資本金7200万円に増資
 平成 5年9月 全自動別注造材プレカットライン完成
 平成 6年2月 五條工場新設
 平成 6年9月 札幌営業所開設
 平成 7年2月 ㈱東日本ウッドワークス中部設立
 平成 9年1月 桜井工場新設
 平成12年6月 ISO9002認証取得
 平成14年4月 田原本工場新設
 平成15年3月 貝本木業(上海)有限公司設立
 平成15年4月 ISO9001取得
 平成16年10月 本社を下市町新住に移転、製造部門と統合
 平成18年3月 本社(管理本部・新住工場)でエコアクション21の認証を取得
 平成20年3月 一部認証範囲を拡大(田原本工場および五條工場を追加)
 平成25年4月 認証範囲を全社に拡大

3. 環境目標

	全社合計				①本社・新住工場				②田原工場				③五條工場			
項目	2012年	2014年	2015年	2016年	2012年	2014年	2015年	2016年	2012年	2014年	2015年	2016年	2012年	2014年	2015年	2016年
	基準	(45期)	(46期)	(47期)	基準	(45期)	(46期)	(47期)	基準	(45期)	(46期)	(47期)	基準	(45期)	(46期)	(47期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	1,742,413	1,682,117	1,632,342	1,601,977	647,024	603,673	564,852	545,441	534,049	523,368	518,028	512,687	477,424	472,650	467,876	463,101
	—	3. 5% 削減	6. 3% 削減	8. 1% 削減	—	6. 7% 削減	12. 7% 削減	15. 7% 削減	—	2. 0% 削減	3. 0% 削減	4. 0% 削減	—	1. 0% 削減	2. 0% 削減	3. 0% 削減
廃棄物排出量 (トン/年)	68.89	58.57	48.35	45.18	27.73	23.57	21.99	19.99	29.25	23.40	15.01	14.01	3.70	3.66	3.50	3.40
	—	15. 0% 削減	29. 8% 削減	34. 4% 削減	—	15. 0% 削減	20. 7% 削減	27. 9% 削減	—	20. 0% 削減	48. 7% 削減	52. 1% 削減	—	1. 0% 削減	5. 4% 削減	8. 1% 削減
総排水量 (m3/年)	11,742	11,624	11,384	11,126	4,774	4,726	4,559	4,402	3,658	3,621	3,585	3,548	3,085	3,054	3,020	2,959
	—	1. 0% 削減	3. 0% 削減	15. 0% 削減	—	1. 0% 削減	4. 5% 削減	7. 8% 削減	—	1. 0% 削減	2. 0% 削減	3. 0% 削減	—	1. 0% 削減	2. 1% 削減	4. 1% 削減
化学物質使用量 (t/t)	—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		
グリーン購入 (件/年)	—	14件以上	21件以上	28件以上	—	2件以上	3件以上	4件以上	—	2件以上	3件以上	4件以上	—	2件以上	3件以上	4件以上
環境配慮製品の割合 (%)	—	化粧ばり造作用集成材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上			—	化粧ばり造作用集成材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上			—	—			—	—		

	④特販部				⑤東京支店				⑥札幌支店				⑦福岡営業所			
項目	2012年	2014年	2015年	2016年	2012年	2014年	2015年	2016年	2012年	2014年	2015年	2016年	2012年	2014年	2015年	2016年
	基準	(45期)	(46期)	(47期)	基準	(45期)	(46期)	(47期)	基準	(45期)	(46期)	(47期)	基準	(45期)	(46期)	(47期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	18,820	18,632	18,444	18,255	14,938	14,639	14,490	14,340	22,081	21,639	21,419	21,198	28,077	27,515	27,235	26,954
	—	1. 0% 削減	2. 0% 削減	3. 0% 削減	—	2. 0% 削減	3. 0% 削減	4. 0% 削減	—	2. 0% 削減	3. 0% 削減	4. 0% 削減	—	2. 0% 削減	3. 0% 削減	4. 0% 削減
廃棄物排出量 (トン/年)	4.00	3.92	3.88	3.84	1.00	0.98	0.97	0.96	2.42	2.28	2.25	2.23	0.79	0.76	0.75	0.75
	—	2. 0% 削減	3. 0% 削減	4. 0% 削減	—	2. 0% 削減	3. 0% 削減	4. 0% 削減	—	6. 0% 削減	7. 0% 削減	8. 0% 削減	—	3. 0% 削減	4. 0% 削減	5. 0% 削減
総排水量 (m3/年)	24.00	23.76	23.52	23.28	49.00	48.51	48.02	47.53	61.00	59.78	59.17	58.56	91.00	90.09	89.18	88.27
	—	1. 0% 削減	2. 0% 削減	3. 0% 削減	—	1. 0% 削減	2. 0% 削減	3. 0% 削減	—	2. 0% 削減	3. 0% 削減	4. 0% 削減	—	1. 0% 削減	2. 0% 削減	3. 0% 削減
化学物質使用量 (t/t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
グリーン購入 (件/年)	—	2件以上	3件以上	4件以上	—	2件以上	3件以上	4件以上	—	2件以上	3件以上	4件以上	—	2件以上	3件以上	4件以上
環境配慮製品の割合 (%)	—	—			—	—			—	—			—	—		

※二酸化炭素排出量算定の排出係数：購入電力 2011年まで0.378(kg-CO2/kWh)を使用。2012年から関西電力0.45(kg-CO2/kWh) 東京電力0.464(kg-CO2/kWh) 北海道電力0.485(kg-CO2/kWh) 九州電力0.525(kg-CO2/kWh)を使用する。

4. 環境活動の実績と評価

4-1. 全社

2014年度			2012年	2014年											
			全社合計	目標	本社・新住工場	田原本工場	五條工場	特販部	東京支店	札幌支店	福岡営業所	全社実績	評価		
二酸化炭素 排出量	総量(kg-CO2/年)		1,742,413	基準年 対比 3. 5%	613,134	580,445	658,876	22,459	12,116	17,305	25,801	1,930,136	総量において、目 標未達であるが、 生産・販売量当 たりの排出量にお いては目標達成	○	
	内訳	購入電力(kg-CO2/年)	1,464,443		541,329	550,437	392,055	18,756	3,961	5,502	6,734	1,518,774			
		化石燃料(kg-CO2/年)	277,970		71,805	30,008	266,821	3,703	8,155	11,803	19,067	411,362			
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	－			-10.8%
	生産量(販売量)(トン)		46,681		5,458	8,872	6,245	3,342	4,673	17,835	7,373	53,798			
	生産量当たり(kg-CO2/トン)		37		112.3	65.4	105.5	6.7	2.6	1.0	3.5	35.9			
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	－			3.9%
廃棄物排出 量	総量(トン/年)		68.89	基準年 対比 15. 0%	32.3	31.8	7.8	13.0	1.3	0.3	0.4	87	目標未達	×	
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	-26.3%			
	生産量(販売量)(トン)		46,681		5,458	8,872	6,245	3,342	4,673	17,835	7,373	53,798			
	生産量当たり		0.001		0.0059	0.0036	0.0012	0.0039	0.0003	0.0000	0.0001	0.0016			
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	－			-9.6%
総排水量	総量(m3/年)		11,742	基準年 対比 1. 0%	3,441	2,899	3,864	49	60	54	107	10,474	目標達成	◎	
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	10.8%			
	生産量(販売量)(トン)		46,681		5,458	8,872	6,245	3,342	4,673	17,835	7,373	53,798			
	生産量当たり(m3/トン)		0.252		0.630	0.327	0.619	0.015	0.013	0.003	0.015	0.195			
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	－			22.6%
化学物質	総量(トン/年)		278	生産量あたり の接着剤の使 用量を維持	20	216	53	0	0	0	0	288	生産量当たり使用 量が2012年を維持	◎	
	3工場生産量(トン)		18,717		5,458	8,872	6,245	－	－	－	－	20,575			
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.015		0.004	0.024	0.008	－	－	－	－	0.014			
グリーン購入	件数(件／年)			7件	2	2	2	2	2	2	2	14	目標達成	◎	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		878	化粧ばり造作 用集成材の原 材料において 認証材の使用 割合10%以 上	991	－	－	－	－	－	－	991	目標達成	◎	
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		2,394		2,015	－	－	－	－	－	－	2,015			
	認証材使用割合(%)		36.7%		49.2%	－	－	－	－	－	－	－			49.2%

※二酸化炭素排出量算定の排出係数：

購入電力 2012年まで0.378(kg-CO2/kWh) 2012年から関西電力0.45(kg-CO2/kWh) 東京電力0.464(kg-CO2/kWh) 北海道電力0.485(kg-CO2/kWh) 九州電力0.525(kg-CO3/kWh)

4. 環境活動の実績と評価

4-2. サイト別

		本社・新住工場				田原本工場				五條工場			
		2012年 (43期)		2014年 目標実績		2012年 (43期)		2014年 目標実績		2012年 (43期)		2014年 目標実績	
		評価		評価		評価		評価		評価		評価	
二酸化炭素 排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	647,024		613,134		534,049		580,445		477,424		658,876	
	基準に対する削減率(%)		6.7%	5.2%			2.0%	-8.7%			1.0%	-38.0%	
	生産量(トン)	3,209		5,458		7,944		8,872		7,565		6,245	
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	201.6		112.3		67.2		65.4		63.1		105.5	
	基準に対する削減率(%)			44.3%				2.7%				-67.2%	
廃棄物排出 量	総量(トン/年)	27.73		32.3		29.30		31.8		3.70		7.8	
	基準に対する削減率(%)		15.0%	-16.5%			20.0%	-8.5%			1.0%	-110.3%	
	生産量(トン)	3,209		5,458		7,944		8,872		7,565		6,245	
	生産量当たり	0.0086		0.0059		0.0037		0.0036		0.0005		0.0012	
	基準に対する削減率(%)			31.5%				2.8%				-154.7%	
総排水量	総量(m3/年)	4,774		3,441		3,658		2,899		3,085		3,864	
	基準に対する削減率(%)		1.0%	27.9%			1.0%	20.7%			1.0%	-25.3%	
	生産量(トン)	3,209		5,458		7,944		8,872		7,565		6,245	
	生産量当たり(m3/トン)	1.488		0.630		0.460		0.327		0.408		0.619	
	基準に対する削減率(%)			57.6%				29.0%				-51.7%	
化学物質	総量(トン/年)	22	生産量 あたりの	20		221	生産量あ たりの接	216		36	生産量 あたりの	53	
	3工場生産量(トン/年)	3,209	接着剤の 使用量	5,458		7,944	着剤の使 用量を維 持	8,872		7,565	接着剤の 使用量	6,245	
	生産量当たり使用量(t/t)	0.007	を維持	0.004		0.028		0.024		0.0047		0.008	
グリーン購 入	件数(件/年)		2件	2件			2件	2件			2件	2件	
環境配慮製 品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)			991				-				-	
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)			2015		-		-	-	-		-	-
	認証材の使用割合			0%以上									
	認証材使用割合(%)			49.2%									

		特販部				東京支店				札幌支店				福岡営業所			
		2012年 (43期)		2014年 目標実績		2012年 (43期)		2014年 目標実績		2012年 (43期)		2014年 目標実績		2012年 (43期)		2013年 目標実績	
		評価		評価		評価		評価		評価		評価		評価		評価	
二酸化炭素 排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	18,820		22,459		14,938		12,116		22,081		17,304		28,077		25,801	
	基準に対する削減率(%)		1.0%	-19.3%			2.0%	18.9%			2.0%	21.6%			2.0%	8.1%	
	販売量(トン)	2,604		3,342		5,446		4,673		12,750		17,835		7,164		7,373	
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	7.2		6.7		2.7		2.6		1.7		1.0		3.9		3.5	
	基準に対する削減率(%)			7.0%				5.5%				44.0%				10.7%	
廃棄物排出 量	総量(トン/年)	4.0		13.0		1.0		1.3		2.4		0.33		0.8		0.4	
	基準に対する削減率(%)		2.0%	-225.0%			2.0%	-34.0%			6.0%	86.4%			3.0%	45.2%	
	販売量(トン)	2,604		3,342		5,446		4,673		12,750		17,835		7,164		7,373	
	生産量当たり	0.0015		0.0039		0.0002		0.0003		0.0002		0.0000		0.0001		0.0001	
	基準に対する削減率(%)			-153.3%				-56.2%				90.3%				46.8%	
総排水量	総量(m3/年)	24		49		49		60		61		54		91		107	
	基準に対する削減率(%)		1.0%	-104.2%			1.0%	-22.4%			2.0%	11.5%			1.0%	-17.6%	
	販売量(トン)	2,604		3,342		5,446		4,673		12,750		17,835		7,164		7,373	
	生産量当たり(m3/トン)	0.009		0.015		0.009		0.013		0.005		0.003		0.013		0.015	
	基準に対する削減率(%)			-59.1%				-42.7%				36.7%				-14.2%	
化学物質	総量(トン/年)			-				-				-				-	
	生産量(トン/年)			-				-				-				-	
	生産量当たり使用量(t/t)			-				-				-				-	
グリーン購 入	件数(件/年)		2件	2件			2件	2件			2件	2件			2件	2件	
環境配慮製 品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)			-				-				-				-	
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)			-				-				-				-	
	認証材の使用割合			-				-				-				-	
	認証材使用割合(%)			-				-				-				-	

5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価

5-1. 本社・新住工場

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																					
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 6.7%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ※本社・新住工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2012年度 約88.4%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。	○多品種少量生産に対応すべく 切替時間の短縮を図る。 ○工場の照明の一部に省エネ照明を導入	削減目標 6.7% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1,271,634</td><td>1,202,953</td><td>5.4%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>572,235</td><td>541,329</td><td>5.4%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>3,209</td><td>5,458</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>178.3</td><td>99.2</td><td>44.4%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1,271,634	1,202,953	5.4%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	572,235	541,329	5.4%	生産量(t)	3,209	5,458	—	二酸化炭素排出量/生産量	178.3	99.2	44.4%	○購入電力/生産量だけでなく、 購入電力による二酸化炭素排出量の総量に おいても目標を達成できるよう生産性を追及していく。 ○照明の省エネの拡大を検討																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																						
購入電力(kwh)	1,271,634	1,202,953	5.4%																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	572,235	541,329	5.4%																																							
生産量(t)	3,209	5,458	—																																							
二酸化炭素排出量/生産量	178.3	99.2	44.4%																																							
	化石燃料削減 目標 6.7%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○電気式フォークリフトへの入替	○燃費の測定と運転手への省エネ運転の励行。 ○電気式フォークリフト1台入替導入	削減目標 6.7% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>74,788</td><td>71,805</td><td>4.0%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>3,209</td><td>5,458</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>23.31</td><td>13.16</td><td>43.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	74,788	71,805	4.0%	生産量(t)	3,209	5,458	—	二酸化炭素排出量/生産量	23.31	13.16	43.6%	○更なる省エネ運転・効率配送を目指し 改善に努める。																					
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	74,788	71,805	4.0%																																							
生産量(t)	3,209	5,458	—																																							
二酸化炭素排出量/生産量	23.31	13.16	43.6%																																							
廃棄物削減	再資源別化による推進 目標 15.0%	廃棄物の分別・再資源化 ○ダンボール ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 ○機密文書の再資源化	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○輸入梱包材の木パレットを 釘のない部分を切断し、再資源化 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 ○事務書類をボイラーの燃料にする。	削減目標 15.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="5">廃棄物</td><td>事務所(紙)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場(ダンボール)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td>27.73</td><td>32.3</td><td>-16.5%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>27.73</td><td>32.3</td><td>-16.5%</td></tr><tr><td>生産量</td><td>3,209</td><td>5,458</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物量/生産量</td><td>0.0086</td><td>0.0059</td><td>31.5%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません 工場内レイアウト変更により廃棄物量が増加しました。	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	廃棄物	事務所(紙)	0	0	—	工場(ダンボール)	0	0	—	工場(鉄)	0	0	—	廃プラ	0	0	—	工場関連(その他)	27.73	32.3	-16.5%	廃棄物計	27.73	32.3	-16.5%	生産量	3,209	5,458	—	廃棄物量/生産量	0.0086	0.0059	31.5%	○今まで資源化出来ていなかった物について 再度見直しを検討し削減に努める。
項目(単位:t)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
廃棄物	事務所(紙)	0	0	—																																						
	工場(ダンボール)	0	0	—																																						
	工場(鉄)	0	0	—																																						
	廃プラ	0	0	—																																						
	工場関連(その他)	27.73	32.3	-16.5%																																						
廃棄物計	27.73	32.3	-16.5%																																							
生産量	3,209	5,458	—																																							
廃棄物量/生産量	0.0086	0.0059	31.5%																																							
総削減水量 目標 1.0%	○ボイラーの給水装置の改善 ○事務所節水の徹底	ボイラーの燃料の木屑を再利用に回し、 余分な蒸気を発生させない様にする。	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>4,774</td><td>3,441</td><td>27.9%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>3,209</td><td>5,458</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/t)</td><td>1.488</td><td>0.630</td><td>57.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総排水量(m)	4,774	3,441	27.9%	生産量(t)	3,209	5,458	—	生産量当たり使用量(t/t)	1.488	0.630	57.6%	○ボイラーの効率運転に努める。 ○事務所の節水を徹底し、削減に努める。																						
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
総排水量(m)	4,774	3,441	27.9%																																							
生産量(t)	3,209	5,458	—																																							
生産量当たり使用量(t/t)	1.488	0.630	57.6%																																							
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>22</td><td>20</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>3209</td><td>5,458</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/m3)</td><td>0.007</td><td>0.004</td><td>46.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	22	20	—	生産量(トン/年)	3209	5,458	—	生産量当たり使用量(t/m3)	0.007	0.004	46.0%	○現状の運用を維持する。																						
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
総量(トン/年)	22	20	—																																							
生産量(トン/年)	3209	5,458	—																																							
生産量当たり使用量(t/m3)	0.007	0.004	46.0%																																							
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	<table><tr><td>目標 2件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 2件(以上)</td></tr></table>	目標 2件	活動の評価 ◎	実績 2件(以上)	○認証木材購入の継続に努める。 ○現状の運用を継続する。																																			
目標 2件	活動の評価 ◎																																									
実績 2件(以上)																																										
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	化粧ばり造作用集成材の原材料発注に際し 認証材の購買を検討する。	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td>878</td><td>991</td><td>—</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td>2394</td><td>2015</td><td>—</td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td>36.7%</td><td>49.2%</td><td>—</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	878	991	—	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	2394	2015	—	認証材使用割合(%)	36.7%	49.2%	—	○認証木材購入の継続に努める。																						
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	878	991	—																																							
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	2394	2015	—																																							
認証材使用割合(%)	36.7%	49.2%	—																																							

5-2. 田原本工場

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																					
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 2.0%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ○電灯の効率利用を図る ※田原本工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2012年度 約92.9%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	削減目標 2.0% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1,102,115</td><td>1,223,193</td><td>-11.0%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>495,952</td><td>550,437</td><td>-11.0%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7,944</td><td>8,872</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>62.4</td><td>62.0</td><td>0.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1,102,115	1,223,193	-11.0%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	495,952	550,437	-11.0%	生産量(t)	7,944	8,872	—	二酸化炭素排出量/生産量	62.4	62.0	0.6%	○生産体制を見直し、購入電力削減に努める。 ○照明の省エネを検討																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																						
購入電力(kwh)	1,102,115	1,223,193	-11.0%																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	495,952	550,437	-11.0%																																							
生産量(t)	7,944	8,872	—																																							
二酸化炭素排出量/生産量	62.4	62.0	0.6%																																							
	化石燃料削減 目標 2.0%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○電気式フォークリフトの採用の検討	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示	削減目標 2.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>38,097</td><td>30,008</td><td>21.2%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7,944</td><td>8,872</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>4.80</td><td>3.38</td><td>29.5%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	38,097	30,008	21.2%	生産量(t)	7,944	8,872	—	二酸化炭素排出量/生産量	4.80	3.38	29.5%	○更なる省エネ運転を目指す。																					
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	38,097	30,008	21.2%																																							
生産量(t)	7,944	8,872	—																																							
二酸化炭素排出量/生産量	4.80	3.38	29.5%																																							
廃棄物削減	再資源化による推進 目標 20.0%	廃棄物を分別・再資源化 ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用	削減目標 20.0% 活動の評価 △ <table><tr><td colspan="2">項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="4">廃棄物</td><td>木材(プレナー屑)</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td>29.3</td><td>31.8</td><td>-8.8%</td></tr><tr><td colspan="2">廃棄物計</td><td>29.3</td><td>31.8</td><td>-8.8%</td></tr><tr><td colspan="2">生産量</td><td>7,944</td><td>8,872</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">廃棄物量/生産量</td><td>0.0037</td><td>0.0036</td><td>2.6%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物は工場関連(その他)に含まれています。	項目(単位:t)		2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	廃棄物	木材(プレナー屑)	0.0	0.0	—	工場(鉄)	0	0	—	廃プラ	0	0	—	工場関連(その他)	29.3	31.8	-8.8%	廃棄物計		29.3	31.8	-8.8%	生産量		7,944	8,872	—	廃棄物量/生産量		0.0037	0.0036	2.6%	○木材(プレナー屑)のリサイクルを さらに推し進める。
項目(単位:t)		2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																						
廃棄物	木材(プレナー屑)	0.0	0.0	—																																						
	工場(鉄)	0	0	—																																						
	廃プラ	0	0	—																																						
	工場関連(その他)	29.3	31.8	-8.8%																																						
廃棄物計		29.3	31.8	-8.8%																																						
生産量		7,944	8,872	—																																						
廃棄物量/生産量		0.0037	0.0036	2.6%																																						
総削減水量 目標 1.0%	○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底	○夏・冬で蒸気配管バルブの開閉を見直し実施 ○ボイラーの運転時間を夏・冬で見直し実施 ○人工乾燥に使用していた蒸気をボイラーの 給水タンクにもどす	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>3,658</td><td>2,899</td><td>20.7%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7,944</td><td>8,872</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m/t)</td><td>0.460</td><td>0.327</td><td>29.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総排水量(m)	3,658	2,899	20.7%	生産量(t)	7,944	8,872	—	総排水量/生産量(m/t)	0.460	0.327	29.0%	○焼却炉の燃焼量を少なくして 使用水量を削減する。																						
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
総排水量(m)	3,658	2,899	20.7%																																							
生産量(t)	7,944	8,872	—																																							
総排水量/生産量(m/t)	0.460	0.327	29.0%																																							
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>221</td><td>216</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>7944</td><td>8872</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/t)</td><td>0.028</td><td>0.024</td><td>12.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	221	216	—	生産量(トン/年)	7944	8872	—	生産量当たり使用量(t/t)	0.028	0.024	12.6%	○現状の運用を維持する。																						
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
総量(トン/年)	221	216	—																																							
生産量(トン/年)	7944	8872	—																																							
生産量当たり使用量(t/t)	0.028	0.024	12.6%																																							
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	<table><tr><td>目標 2件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 2件</td></tr></table>	目標 2件	活動の評価 ◎	実績 2件	○現状の運用を継続する。																																			
目標 2件	活動の評価 ◎																																									
実績 2件																																										
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	該当製品の製造なし	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	—	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	—	認証材使用割合(%)	—	—	—	○2014年度は対象製品の生産はありませんでした。																						
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																							
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	—																																							
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	—																																							
認証材使用割合(%)	—	—	—																																							

5-3. 五條工場

PLAN		DO	CHECK	ACTION																														
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 1.0%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ※五條工場では二酸化炭素排出量における購入電力の割合は約76.4% (2012年度)	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>810,167</td><td>871,233</td><td>-7.5%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>364,575</td><td>392,055</td><td>-7.5%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7,565</td><td>6,245</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>48.2</td><td>62.8</td><td>-30.3%</td></tr></table> 工数のかかる製品比率があり働時間が増えたため	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	810,167	871,233	-7.5%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	364,575	392,055	-7.5%	生産量(t)	7,565	6,245	—	二酸化炭素排出量/生産量	48.2	62.8	-30.3%	○各生産設備の生産性を上げることで 生産量あたりの二酸化炭素排出量を削減する。 ○照明の省エネを検討									
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																														
購入電力(kwh)	810,167	871,233	-7.5%																															
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	364,575	392,055	-7.5%																															
生産量(t)	7,565	6,245	—																															
二酸化炭素排出量/生産量	48.2	62.8	-30.3%																															
化石燃料削減	目標 1.0%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○電気式フォークリフトの入替導入 人工乾燥の効率化を図る。	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示 ○電気式フォークリフト1台入替導入	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>112,849</td><td>266,821</td><td>-136.4%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7,565</td><td>6,245</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>14.92</td><td>42.73</td><td>-186.4%</td></tr></table> 生産量は減少していますが、木材の人工乾燥が必要な製品が比率があがったため、乾燥に用いる灯油の使用量が増加した。 人工乾燥に用いる灯油の乾燥木材当たりの消費量は維持しています。	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	112,849	266,821	-136.4%	生産量(t)	7,565	6,245	—	二酸化炭素排出量/生産量	14.92	42.73	-186.4%	○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラーの灯油使用量を削減する。													
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																														
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	112,849	266,821	-136.4%																															
生産量(t)	7,565	6,245	—																															
二酸化炭素排出量/生産量	14.92	42.73	-186.4%																															
廃棄物削減	再資源化の推進 目標 1.0%	廃棄物を分別・再資源化 ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="3">廃棄物</td><td>工場(鉄)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td>3.7</td><td>7.78</td><td>-110.3%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>3.7</td><td>7.78</td><td>-110.3%</td></tr><tr><td>生産量</td><td>7,565</td><td>6,245</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物量/生産量</td><td>0.0005</td><td>0.0012</td><td>-154.7%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません 工場内3S活動により廃棄物が増加しました。	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	廃棄物	工場(鉄)	0	0	—	廃プラ	0	0	—	工場関連(その他)	3.7	7.78	-110.3%	廃棄物計	3.7	7.78	-110.3%	生産量	7,565	6,245	—	廃棄物量/生産量	0.0005	0.0012	-154.7%	○来期はパレット等工場関連廃棄物の 資源化を進める。
	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																														
廃棄物	工場(鉄)	0	0	—																														
	廃プラ	0	0	—																														
	工場関連(その他)	3.7	7.78	-110.3%																														
廃棄物計	3.7	7.78	-110.3%																															
生産量	7,565	6,245	—																															
廃棄物量/生産量	0.0005	0.0012	-154.7%																															
総排水量削減	目標 1.0%	○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底 ※五條工場ではラミナ(製品を構成する 板)を乾燥するためのボイラーに水を 使用している。 (※ラミナとは製品を構成する板材のこと)	○水道水使用量を毎月確認する。 ○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラー使用水の削減する。 ○人工乾燥時の木屑焚きボイラーの蒸気を 効率運用する。	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>3,085</td><td>3,864</td><td>-25.3%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7,565</td><td>6,245</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m³/t)</td><td>0.408</td><td>0.619</td><td>-51.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総排水量(m)	3,085	3,864	-25.3%	生産量(t)	7,565	6,245	—	総排水量/生産量(m ³ /t)	0.408	0.619	-51.7%	○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラー使用水の削減する。 ○人工乾燥時の木屑焚きボイラーの蒸気を 効率運用する。													
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																														
総排水量(m)	3,085	3,864	-25.3%																															
生産量(t)	7,565	6,245	—																															
総排水量/生産量(m ³ /t)	0.408	0.619	-51.7%																															
化学物質		○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>35.88</td><td>52.56</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>7,565</td><td>6,245</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/t)</td><td>0.005</td><td>0.008</td><td>-77.5%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	35.88	52.56	—	生産量(トン/年)	7,565	6,245	—	生産量当たり使用量(t/t)	0.005	0.008	-77.5%	○現状の運用を維持する。													
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																														
総量(トン/年)	35.88	52.56	—																															
生産量(トン/年)	7,565	6,245	—																															
生産量当たり使用量(t/t)	0.005	0.008	-77.5%																															
グリーン購入		○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 2件 活動の評価 ◎ 実績 2件																														
	環境配慮	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	該当製品の製造なし	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	—	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	—	認証材使用割合(%)	—	—	—	○2014年度は対象製品の生産はありませんでした。													
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																															
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	—																															
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	—																															
認証材使用割合(%)	—	—	—																															

5-4. 特販部

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																					
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>15,098</td><td>18,756</td><td>-24.2%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>2,604</td><td>3,342</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>5.80</td><td>5.61</td><td>3.2%</td></tr></table> 5月に本社より工場の一部製品が特販部敷地内に移動し、それに伴い営業・事務・業務計9名が移動した。 販売量は特販部のみの数字	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	15,098	18,756	-24.2%	販売量(t)	2,604	3,342	—	二酸化炭素排出量/販売量	5.80	5.61	3.2%	○活動継続																					
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	15,098	18,756	-24.2%																																							
販売量(t)	2,604	3,342	—																																							
二酸化炭素排出量/販売量	5.80	5.61	3.2%																																							
	化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践 ○積み込み時アイドリングストップを実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>3,722</td><td>3,703</td><td>0.5%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>2,604</td><td>3,342</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>1.43</td><td>1.11</td><td>22.5%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	3,722	3,703	0.5%	販売量(t)	2,604	3,342	—	二酸化炭素排出量/販売量	1.43	1.11	22.5%	○活動継続																					
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	3,722	3,703	0.5%																																							
販売量(t)	2,604	3,342	—																																							
二酸化炭素排出量/販売量	1.43	1.11	22.5%																																							
廃棄物削減	分別による推進	廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○紙類はボイラーの燃料にする ○廃プラをリサイクル業者に引き取ってもらう。	削減目標 2.0% 活動の評価 × <table><tr><td colspan="2">項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="4">廃棄物</td><td>段ボール</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>紙類</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>4.0</td><td>13.0</td><td>-225.0%</td></tr><tr><td colspan="2">廃棄物計</td><td>4.0</td><td>13.0</td><td>-225.0%</td></tr><tr><td colspan="2">販売量(t)</td><td>2,604</td><td>3,342</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">廃棄物排出量/販売量</td><td>0.0015</td><td>0.0039</td><td>-153.2%</td></tr></table> 5月に本社より工場の一部製品が特販部敷地内に移動し、それに伴い営業・事務・業務計9名が移動した。 販売量は特販部のみの数字	項目(単位:t)		2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	4.0	13.0	-225.0%	廃棄物計		4.0	13.0	-225.0%	販売量(t)		2,604	3,342	—	廃棄物排出量/販売量		0.0015	0.0039	-153.2%	○活動継続
		項目(単位:t)		2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																				
廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—																																						
	紙類	0	0	—																																						
	廃プラ	0	0	—																																						
	その他	4.0	13.0	-225.0%																																						
廃棄物計		4.0	13.0	-225.0%																																						
販売量(t)		2,604	3,342	—																																						
廃棄物排出量/販売量		0.0015	0.0039	-153.2%																																						
総削減水量		○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>24</td><td>49</td><td>-104.2%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>2,604</td><td>3,342</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/販売量</td><td>0.009</td><td>0.015</td><td>-59.1%</td></tr></table> 5月に本社より工場の一部製品が特販部敷地内に移動し、それに伴い営業・事務・業務計9名が移動した。 販売量は特販部のみの数字	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総排水量(m)	24	49	-104.2%	販売量(t)	2,604	3,342	—	総排水量/販売量	0.009	0.015	-59.1%	○活動継続																					
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																							
総排水量(m)	24	49	-104.2%																																							
販売量(t)	2,604	3,342	—																																							
総排水量/販売量	0.009	0.015	-59.1%																																							
物化質学		○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																						
グリーン購入		○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	<table><tr><td>目標 2件</td></tr><tr><td>実績 2件</td></tr></table> 活動の評価 ◎	目標 2件	実績 2件	○現状の運用を継続する。																																			
目標 2件																																										
実績 2件																																										
製配環境配慮		○化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																						

5-5. 東京支店

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																	
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 2.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>3,100</td><td>3,961</td><td>-27.8%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>5,446</td><td>4,673</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>0.57</td><td>0.85</td><td>-48.9%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	3,100	3,961	-27.8%	販売量(t)	5,446	4,673	—	二酸化炭素排出量/販売量	0.57	0.85	-48.9%	○活動継続																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	3,100	3,961	-27.8%																																			
販売量(t)	5,446	4,673	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	0.57	0.85	-48.9%																																			
	化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践	削減目標 2.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>11,838</td><td>8,155</td><td>31.1%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>5,446</td><td>4,673</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>2.17</td><td>1.75</td><td>19.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	11,838	8,155	31.1%	販売量(t)	5,446	4,673	—	二酸化炭素排出量/販売量	2.17	1.75	19.7%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	11,838	8,155	31.1%																																			
販売量(t)	5,446	4,673	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	2.17	1.75	19.7%																																			
廃棄物削減	分別化による推進	廃棄物を分別・再資源化	○資源ごみの分別の徹底	削減目標 2.0% 活動の評価 × <table><tr><td rowspan="7">廃棄物</td><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>段ボール</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>紙類</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>1.0</td><td>1.3</td><td>-34.0%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>1.0</td><td>1.3</td><td>-34.0%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>5,446</td><td>4,673</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物排出量/販売量</td><td>0.0002</td><td>0.0003</td><td>-56.2%</td></tr></table>	廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	1.0	1.3	-34.0%	廃棄物計	1.0	1.3	-34.0%	販売量(t)	5,446	4,673	—	廃棄物排出量/販売量	0.0002	0.0003	-56.2%	○活動継続
		廃棄物		項目(単位:t)		2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																														
段ボール	0.0		0.0	—																																		
紙類	0		0	—																																		
廃プラ	0		0	—																																		
その他	1.0		1.3	-34.0%																																		
廃棄物計	1.0		1.3	-34.0%																																		
販売量(t)	5,446		4,673	—																																		
廃棄物排出量/販売量	0.0002	0.0003	-56.2%																																			
	事務所関連廃棄物の削減																																					
総削減水量		○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>49</td><td>60</td><td>-22.4%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>5446</td><td>4,673</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/販売量</td><td>0.009</td><td>0.013</td><td>-42.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総排水量(m)	49	60	-22.4%	販売量(t)	5446	4,673	—	総排水量/販売量	0.009	0.013	-42.7%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																			
総排水量(m)	49	60	-22.4%																																			
販売量(t)	5446	4,673	—																																			
総排水量/販売量	0.009	0.013	-42.7%																																			
物化質学		○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																		
グリーン購入		○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	<table><tr><td>目標 2件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 2件</td></tr></table>	目標 2件	活動の評価 ◎	実績 2件	○現状の運用を継続する。																														
目標 2件	活動の評価 ◎																																					
実績 2件																																						
製品環境配慮		○化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																		

5-6. 札幌支店

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																	
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 2.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>5,511</td><td>5,502</td><td>0.2%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>12,750</td><td>17,835</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>0.43</td><td>0.31</td><td>28.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	5,511	5,502	0.2%	販売量(t)	12,750	17,835	—	二酸化炭素排出量/販売量	0.43	0.31	28.6%	○活動継続																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	5,511	5,502	0.2%																																			
販売量(t)	12,750	17,835	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	0.43	0.31	28.6%																																			
	化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践	削減目標 2.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>16,570</td><td>11,803</td><td>28.8%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>12,750</td><td>17,835</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>1.30</td><td>0.66</td><td>49.1%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	16,570	11,803	28.8%	販売量(t)	12,750	17,835	—	二酸化炭素排出量/販売量	1.30	0.66	49.1%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	16,570	11,803	28.8%																																			
販売量(t)	12,750	17,835	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	1.30	0.66	49.1%																																			
廃棄物削減	分別による推進	廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○資源ごみの分別の徹底	削減目標 6.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="4">廃棄物</td><td>段ボール</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>紙類</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>2.4</td><td>0.3</td><td>86.4%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>2.4</td><td>0.3</td><td>86.4%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>12,750</td><td>17,835</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物排出量/販売量</td><td>0.0002</td><td>0.0000</td><td>90.3%</td></tr></table>	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	2.4	0.3	86.4%	廃棄物計	2.4	0.3	86.4%	販売量(t)	12,750	17,835	—	廃棄物排出量/販売量	0.0002	0.0000	90.3%	○活動継続
		項目(単位:t)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																	
廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—																																		
	紙類	0	0	—																																		
	廃プラ	0	0	—																																		
	その他	2.4	0.3	86.4%																																		
廃棄物計	2.4	0.3	86.4%																																			
販売量(t)	12,750	17,835	—																																			
廃棄物排出量/販売量	0.0002	0.0000	90.3%																																			
総削減水量		○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 2.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>61</td><td>54</td><td>11.5%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>12,750</td><td>17,835</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/販売量</td><td>0.005</td><td>0.003</td><td>36.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総排水量(m)	61	54	11.5%	販売量(t)	12,750	17,835	—	総排水量/販売量	0.005	0.003	36.7%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																			
総排水量(m)	61	54	11.5%																																			
販売量(t)	12,750	17,835	—																																			
総排水量/販売量	0.005	0.003	36.7%																																			
物化質学		○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																		
グリーン購入		○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	<table><tr><td>目標 2件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 2件</td></tr></table>	目標 2件	活動の評価 ◎	実績 2件	○現状の運用を継続する。																														
目標 2件	活動の評価 ◎																																					
実績 2件																																						
製配環境 配慮		○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																		

5-7. 福岡営業所

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																	
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 2.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>7,971</td><td>6,734</td><td>15.5%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>7,164</td><td>7,373</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>1.11</td><td>0.91</td><td>17.9%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	7,971	6,734	15.5%	販売量(t)	7,164	7,373	—	二酸化炭素排出量/販売量	1.11	0.91	17.9%	○活動継続																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	7,971	6,734	15.5%																																			
販売量(t)	7,164	7,373	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	1.11	0.91	17.9%																																			
	化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践 ○積み込み時アイドリングストップを実施	削減目標 2.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>20,106</td><td>19,067</td><td>5.2%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>7,164</td><td>7,373</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>2.81</td><td>2.59</td><td>7.9%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	20,106	19,067	5.2%	販売量(t)	7,164	7,373	—	二酸化炭素排出量/販売量	2.81	2.59	7.9%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	20,106	19,067	5.2%																																			
販売量(t)	7,164	7,373	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	2.81	2.59	7.9%																																			
廃棄物削減	分別化による推進	廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○木屑を農家用資源に利用	削減目標 3.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td rowspan="7">廃棄物</td><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>段ボール</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>紙類</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>0.79</td><td>0.43</td><td>45.6%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>0.79</td><td>0.43</td><td>45.6%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>7,164</td><td>7,373</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物排出量/販売量</td><td>0.0001</td><td>0.0001</td><td>47.1%</td></tr></table>	廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	0.79	0.43	45.6%	廃棄物計	0.79	0.43	45.6%	販売量(t)	7,164	7,373	—	廃棄物排出量/販売量	0.0001	0.0001	47.1%	○活動継続
		廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)		2014年 (45期)	削減率 (%)																															
段ボール	0.0		0.0	—																																		
紙類	0		0	—																																		
廃プラ	0		0	—																																		
その他	0.79		0.43	45.6%																																		
廃棄物計	0.79		0.43	45.6%																																		
販売量(t)	7,164		7,373	—																																		
廃棄物排出量/販売量	0.0001	0.0001	47.1%																																			
総削減水量	○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2014年 (45期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>91</td><td>107</td><td>-17.6%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>7,164</td><td>7,373</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/販売量</td><td>0.013</td><td>0.015</td><td>-14.2%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)	総排水量(m)	91	107	-17.6%	販売量(t)	7,164	7,373	—	総排水量/販売量	0.013	0.015	-14.2%	○活動継続																		
項目(単位)	2012年 (43期)	2014年 (45期)	削減率 (%)																																			
総排水量(m)	91	107	-17.6%																																			
販売量(t)	7,164	7,373	—																																			
総排水量/販売量	0.013	0.015	-14.2%																																			
物化質学	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																			
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	<table><tr><td>目標 2件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 2件</td></tr></table>	目標 2件	活動の評価 ◎	実績 2件	○現状の運用を継続する。																															
目標 2件	活動の評価 ◎																																					
実績 2件																																						
製品環境	○化粧ばり造作用集成材の原材料において認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																			

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する環境関連法規は次の通りです

①本社・新住工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
NOxPM法	トラック	○
フロン回収破壊法	業務用エアコン	○

②田原本工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
フロン回収破壊法	業務用エアコン	○

③五條工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
フロン回収破壊法	業務用エアコン	○

拡大4事業所を含め過去3年間、関係当局より違反の指摘はありません。
環境関連法規について自主的に見直した結果、不備はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は受注増に伴い生産・販売量が増えCO2排出量は

総量で増加となりましたが、生産量当たりでは目標達成できました。

廃棄物排出量は総量および生産量当たりで目標未達となりましたが、
社内3S活動や業務改善のために排出された廃棄物によるものです。

総排水量においては目標達成できました。

廃棄物排出量については目標未達に終わりましたので、

来期には目標達成できるよう活動を継続致します。

平成27年 1月 27日 代表取締役社長 貝本 隆三

次回の環境レポートは平成28年3月の予定です。